

令和3年6月25日

記録：関根 浩

令和3年度 第1回 教育課程編成委員会 議事録

※ 新型コロナウイルスの感染の状況を鑑み、多数の方が、校舎内において長時間に渡り同じ場所に集まる状況は、現況では避けなくてはならないことから、「教育課程編成委員会」を中止とした。なお、当日、使用する資料を全出席予定者に送付し、その資料に対する意見等を回答いただく方法とした。

- 1 予定日時 令和3年5月25日(火) 13時30分
- 2 予定場所 大川学園医療福祉専門学校 2階会議室
- 3 出席予定者 島村和男（埼玉県柔道整復師会西部支部支部長、島村接骨院院長）
高橋誠一（彩の森接骨院院長）
平澤淳校長 霞孝行柔道整復学科学科長
岡村忠彦教務部長（柔道整復学科） 関根浩学務部長
- 4 予定議題
 - ① 校長挨拶
 - ② 委員委嘱状交付
 - ③ 教育課程編成に係る現状と課題等
 - ④ 事務連絡他
 - ⑤ その他
- 5 意見書
 - ・臨床実習指導者講習会及び実習の実施に向け準備と実施後の管理など重要であり、初めて行われる事なので、TRYの年度になり課題も見つかると考えている。
 - ・学生においては社会人の多かった夜間部の廃止に伴い、今後社会人（募集）や接骨院や病院で働く無資格の方への入学サポートシステム等、検討していく必要もありか…！？入口戦略は積極的に各学校で昨今盛んな為、学校体験や募集にも工夫が求められる。
- 6 次回開催予定 令和4年3月2日(水) 13時30分 2階会議室

令和4年3月14日

記録：関根 浩

令和3年度 第2回 教育課程編成委員会 議事録

1. 日時 令和4年3月2日(水) 13時30分
2. 場所 大川学園医療福祉専門学校 2階会議室
3. 出席者 島村和男（埼玉県柔道整復師会西部支部支部長、島村接骨院院長）
高橋誠一（彩の森接骨院院長）
平澤淳校長 霞孝行柔道整復学科学科長
岡村忠彦教務部長（柔道整復学科） 関根浩学務部長

4. 校長挨拶

本日は、年度末のお忙しい中、お越しいただきありがとうございました。また、外部臨床実習等で色々とお力添えをいただき、誠にありがとうございます。今度の日曜日3月6日が柔道整復師の国家試験です。コロナ禍での授業により、学生達にとって辛い日々が続いていますが、そんな状況下の中でも、どうにか国家試験に合格していただきたいと願っています。そして、卒業式は、3月10日(木)となっています。今後、カリキュラムを作成するにあたり、本日は、先生方に色々ご提案いただくとありがたいと存じます。

5. 教育課程編成に係る現状と課題等

①教育内容について

令和3年度の現状として、新型コロナウイルス感染拡大の中、当学科は、対面での授業を継続し、特に実技・実習を中断することなく通常授業が出来たことが、一定の成果となりました。

また、8月には、外部の方向けの「臨床実習講習会」を開催し、学生達は、45時間の学外施術所での実習もスタートできました。現時点では、卒業に必須とはなっていませんが、今後、外部実習が義務化になった場合を想定し、協力施設との連携等を調整していく意味も含め開始しています。スムーズな実習ができるような環境の提供をご協力お願い致します。

②国家試験

新型コロナウイルス感染拡大の中でも、規定内の授業が中断なく行われたが、他校でも言われるような低学力者の増加は否めない現状です。3年次当初は、16名であったが、卒業できたのは6名という現状です。第一線でご活躍されている先生方からは、ある一定の知識と技術がない学生を卒業させることに憤りを感じ、養成校の果たす社会的役割を果たしていないと感じられると思われれます。卒業と現実のバランス等のご意見をいただけると幸いです。

③8月には、外部の方向けの「臨床実習講習会」を開催しました。

芳愛接骨院で働いている吉田剛を新人の専任教員、外部からは、学生の年齢と比較的

近い若い教員を活用するため、非常勤の村上直樹を採用しました。

④令和4年度は、30名定員で25名の入学予定です。今年度の反省を活かし、一人でも多く国家試験に合格させるため、令和3年度も実施していましたが、1・2年次学年末に、成績不良者の保護者を呼び出し三者面談を実施し、進退・生活態度の改善を指導し、2年次には、週3回成績不良者に対する補講を行い、卒業試験までいけるように学生指導を来年度も継続していきます。

⑤「3M ジャパン主催テーピング講習会（当校を埼玉会場として実施予定）」と「超音波技術講習会・研修会」の2つの研修会が新型コロナウイルス感染拡大に伴い保留となっているので、実施できるよう検討していきます。

⑥令和4年度より入学定員を30名に変更し、オープンキャンパススタッフとして、在学生を採用し実施する予定です。

6. 就職状況・学生アンケート結果等

①令和3年度は、通常3月に実施していた「就職ガイダンス」を、9月に前倒して実施した結果、令和2年度と比較して、就職内定している学生が多くなっています。卒業生のうち残り2名が未決定であるが、方向性は決まっている2人です。

②退学者は、1年生が3名、2年生が1名、3年生が6名の合計10名でした。

③学生アンケートについては、学生の意見等を職員会議等で話し合いをしているため、年々、不満だという回答が少なくなってきました。また、「(4)のあなたが本校に決めた理由をお書きください。」という質問の回答をしっかりと確認し、今後の募集へと参考にしていきたいと考えています。

7. 質疑応答

①国家試験に不合格となった学生の対応は？

→ 学科としては、学費の半額の金額での授業聴講を勧めています。また、通常に定期試験は受験してもらいます。

②学生は勉強しているのか？

→ 柔道整復師という夢はあるが、こんなに勉強をしないといけないのかと、甘く考え入学している学生が多いと思われます。

③接骨院でのアルバイトは？

→ 少なくなりました。授業時間帯の関係もあるが、他の時給の高い職種でアルバイトをしている学生が多いです。

④病院へ訪れると「看護師になりませんか…」というポスターをよく見かけます。大川学園も病院等に来る患者様等向けに、ポスターを作成し掲示してもらうのはいかがでしょうか？

→ 地域の接骨院等を訪問し、募集を広げていきたいと考えています。

⑤大学に行って何もしない学生が多くなっていることが現状である。柔道整復師の仕事を全く知らない一般の方も多いため、きっかけとして宣伝の為にもポスターを活かすのも一つの方法であると思われるが。

→ 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、接骨院等に訪問することを躊躇して

しまっているのが現状です。今後、落ち着いたら訪問していきたいと考えています。

⑥柔道整復師の今後の魅力は？

→ 接骨院を1度も利用したことがない学生が入学したケースもゼロではありません。子供の頃、野球やサッカーをやっていた学生はいますが、柔道をやっていた学生が少ないです。また、将来、食っていくには難しいが、トレーナーになりたいという学生もいます。

⑦先生方にご意見をいただき、実技授業の内容を変えていきたいと考えています。

→ 骨折・脱臼に関する授業は時間を取って教えているのか？実技の授業が重要だと思うので…

→ 1年半かけて教えています。新型コロナウイルス感染拡大防止の為、部活動も行われていない為、ケガも少ないこともあり、このところ、骨折等は病院の範疇で、患者が接骨院等に来院しなくなっていることが現状だと思われませんが、骨折や脱臼の処置が出来ない柔道整復師・接骨院等はもう終わりだと思っています。学生の中では、外傷を多く診ることができる地方へと就職する学生も現れています。また、現実に即したところも授業に取り入れていかなければならないとも考えています。

8. 次回開催予定 令和4年5月24日(火) 13時30分 2階会議室
後日、書面で案内します。